HP LP2275w および LP2475w LCD モニタ
ユーザ ガイド

© 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft、Windows および Windows Vista は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のままで提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett-Packard 製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Company の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

初版：2008 年 3 月

製品番号：468611-291

このガイドについて

このガイドでは、モニタのセットアップ、ドライバのインストール、オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用方法、トラブルの解決方法、およびモニタの仕様について説明します。

⚠ **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

△ **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

注記： 重要な補足情報です。

目次

1 製品の特長

HP LP2275w モデル 1
HP LP2475w モデル 2

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報 4
保守に関するガイドライン 5
モニタの清掃 5
モニタの運搬 5

3 モニタのセットアップ

モニタ台の取り付け 6
背面の各部 7
HP LP2275w モデル 7
HP LP2475w モデル 8
ビデオ ケーブルの選択および接続 9
モニタの電源の接続 11
USB デバイスの接続 12
ケーブルの管理 13
モニタの調整 13
モニタの電源投入 15
アクセサリ レールの使用 16
モニタ台の取り外し 16
モニタの取り付け 17
製品ラベルの位置 19

4 モニタの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ 20
情報ファイル 20
Image Color Matching ファイル 20
.INF および.ICM ファイルのインストール 21
CD からのインストール 21
Web サイトからのダウンロード 21
自動調整機能の使用 22
フロント パネルの各部 23
HP LP2275w モデル 23
HP LP2475w モデル 24
モニタの設定の調整 25

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用 25
OSD メニューの選択 25
デジタル コンバージョンの最適化 31
[HP Display Assistant]ユーティリティの使用 31
モニタの状態の確認 32
スリープ タイマ モード 33
HP Display LiteSaver 34
[HP Display LiteSaver]ソフトウェアのインストール 34
sRGB のサポート 35
色温度の変更 35
Microsoft Windows 2000 および Windows XP への sRGB ICM ファイルのインストール 35
Windows Vista®への sRGB ICM ファイルのインストール 36

付録 A トラブルシューティング
一般的なトラブルの解決方法 37
インターネット Web サイト 39
お問い合わせになる前に 39

付録 B 技術仕様
HP LP2275w モデル 40
HP LP2475w モデル 41
プリセット ディスプレイ解像度について 43
HP LP2275w モデル 43
HP LP2475w モデル 43
ユーザ モードの使用 44
エナジー セーブ機能 45

付録 C 規定に関するご注意
Federal Communications Commission Notice（米国向け） 46
Modifications 46
Cables 46
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only) 46
Canadian Notice（カナダ向け） 47
Avis Canadien（カナダ向け） 47
European Union Regulatory Notice（欧州連合向け） 47
German Ergonomics Notice（ドイツ向け） 48
日本向け 48
Korean Notice（韓国向け） 48
電源コードの要件 48
日本国内での電源コードの要件 48
製品環境に関するご注意 49
国際エネルギー スター プログラムへの準拠 49
有害物質の破棄 49
Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け） 49
製品の部材表示について 49

付録 D LCD モニタの品質およびピクセルに関する方針

1 製品の特長

HP LP2275w モデル

LCD（液晶ディスプレイ）モニタでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）を採用しています。このモニタの特長は以下のとおりです。

- 表示領域 22 インチ（対角長 55.9 cm）の大型ディスプレイ、1680 × 1050 の解像度以下でフルスクリーン サポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 縦長モードへのディスプレイ回転機能
- 画面の上下左右の向きおよび高さを調整可能
- HP クイック リリースにより簡単に取り外しができるモニタ台および VESA 基準の 10 cm 間隔の取り付け穴
- DisplayPort および DVI（アナログおよびデジタル）信号によるビデオ入力のサポート
- DVI/VGA ビデオ（信号）ケーブル（×1）、DVI/DVI-D ビデオ ケーブル（×1）が付属
- DisplayPort ビデオ ケーブル（×1）が付属
- USB 2.0 ハブ（アップストリーム コネクタ（コンピュータに接続）×1、ダウンストリーム コネクタ（USB デバイスに接続）×4）
- モニタの USB ハブとコンピュータの USB コネクタを接続する USB ケーブルが付属
- モニタに HP スピーカ バーなどのオプション デバイスを取り付け可能なアクセサリ レール
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 左右からの視線を遮断するプライバシ フィルタ（別売）用スロット
- モニタのリア パネルにオプションのセキュリティ ロック ケーブル用のスロットを搭載
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーン メニュー）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- [HP Display Assistant]、[Pivot Pro]ソフトウェア、モニタ ドライバ ソフトウェア、および製品の説明書が含まれる Software and Documentation CD（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）
- 低消費電力の環境要件に準拠したエナジー セーブ機能

- 資産管理
- 以下の規定に準拠
  - European Union CE Directives
  - Swedish MPR II 1990

HP LP2475w モデル

LCD（液晶ディスプレイ）モニタでは、アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）を採用しています。このモニタの特長は以下のとおりです。

- 表示領域 24 インチ（対角長 61 cm）の大型ディスプレイ、1920× 1200 の解像度以下でフル スクリーン サポート
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 同時に 2 つのビデオ入力信号を表示できる PIP（Picture-In-Picture）および POP（Picture-Outside-Picture）機能
- 縦長モードへのディスプレイ回転機能
- 画面の上下左右の向きおよび高さを調整可能
- HP クイック リリースにより簡単に取り付けができるモニタ台および VESA 基準の 10 cm 間隔の取り付け穴
- DisplayPort、HDMI、DVI（アナログおよびデジタル）、コンポジット、コンポーネント、および S ビデオ信号入力によるビデオ入力
- DVI/VGA ビデオ ケーブル（× 1）および DVI/DVI-D ビデオ ケーブル（× 1）が付属
- DisplayPort ビデオ ケーブル（× 1）が付属
- HDMI ビデオ ケーブル（× 1）が付属
- USB 2.0 ハブ（アップストリーム コネクタ（コンピュータに接続）× 1、ダウンストリーム コネクタ（USB デバイスに接続）× 6）
- モニタの USB ハブとコンピュータの USB コネクタを接続する USB ケーブルが付属
- モニタに HP スピーカ バーなどのオプション デバイスを取り付け可能なアクセサリ レール
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 左右からの視線を遮断するプライバシ フィルタ（別売）用スロット
- モニタのリア パネルにオプションのセキュリティ ロック ケーブル用のスロットを搭載
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、画面表示（オンスクリーン メニュー）による画面調節機能（複数の言語に対応）

- [HP Display Assistant]、[Pivot Pro]ソフトウェア、モニタ ドライバ ソフトウェア、および製品の説明書が含まれる Software and Documentation CD（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）
- 低消費電力の環境要件に準拠したエナジー セーブ機能
- 資産管理
- 以下の規定に準拠
  - European Union CE Directives
  - Swedish MPR II 1990
  - Swedish TCO
  - 国際エネルギー スター プログラム（EPA Energy Star）

2　安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニタには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属していた電源コードのみをお使いください。モニタに接続する適切な電源コードについては、48 ページの 「電源コードの要件」を参照してください。

⚠ **警告！**　感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にある接地されたコンセントに差し込んでください。

・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト（http://www.hp.com/ergo/（英語サイト）から[日本語]を選択します）から参照できます。また、モニタに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

△ **注意：**　モニタおよびコンピュータの保護のために、コンピュータおよび周辺装置（モニタ、プリンタ、スキャナなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットによっては、サージ防止機能に対応していない場合もあります。サージ防止機能のあるマルチソケットをお使いになることをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いの HP LCD モニタを適切にサポートするために設計された適切で正しいサイズの備品を使用してください。

⚠ **警告！**　化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカ、チェスト、またはカートなどの上に不適切に LCD モニタを設置した場合、LCD モニタが倒れて怪我をする恐れがあります。

LCD モニタに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまづいたりしないように注意を払う必要があります。

保守に関するガイドライン

モニタの性能を向上させ長く使い続けるために、以下のガイドラインに従ってください。

- モニタのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニタを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニタ裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニタは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っ張って抜かないでください。
- モニタを使用していないときには、モニタの電源を切るようにしてください。スクリーン セーバ プログラムを使用したり、モニタを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニタを長くお使いいただけます。
- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニタを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニタは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。
- モニタ台を取り外すときは、モニタの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所にフロント パネルを下にして置いてください。

モニタの清掃

1. モニタとコンピュータ本体の電源を切ります。
2. モニタの電源コードをコンセントから外します。
3. モニタのプラスチック部分を、軽く湿らせた清潔な布で拭きます。
4. モニタの画面を、静電気防止用の市販のクリーナで清掃します。

△ **注意：** ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタや画面を拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面や画面が損傷することがあります。

モニタの運搬

モニタを運搬する場合は、モニタ出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3 モニタのセットアップ

モニタをセットアップするには、モニタ、コンピュータ システム、およびコンピュータに接続されているその他の装置の電源が切られていることを確認してから、以下の手順で操作します。

注記： モニタの背面にある主電源スイッチが OFF（オフ）の位置にあることを確認してください。主電源スイッチを切るとモニタのすべての電源がオフになります。

モニタ台の取り付け

注記： モニタを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付ける場合は、モニタ台を取り付けずにこの章の17 ページの 「モニタの取り付け」を参照してください。

1. 両手を使ってモニタをモニタ台の上で持ちます。

△ **注意：** LCD パネルの表面には触れないでください。パネルに圧力を加えると、色が不均一に表示されたり液晶が間違った向きで表示されたりすることがあります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

2. モニタをしっかりと押し下げて台を所定の位置に固定します。台が固定されるとカチッという音がします。

図 3-1 モニタ台へのモニタの取り付け

注記： セットアップを続ける前に、モニタ台がしっかりと固定されていることを確認します。

背面の各部

モニタの背面の各部の名称と位置は、モデルによって異なります。

HP LP2275w モデル

図 3-2 背面の各部

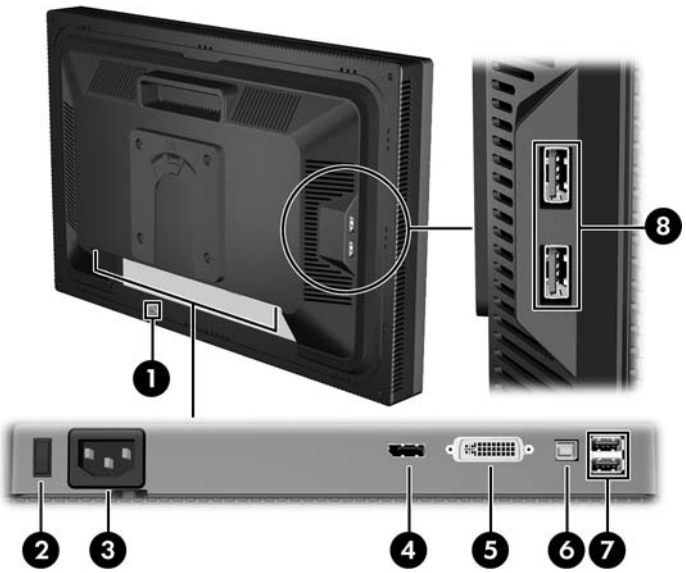


表 3-1 HP LP2275w の背面の各部

名称		機能
1	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	セキュリティ ロック ケーブル用のスロットです
2	主電源スイッチ	モニタのすべての電源をオフにします
3	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニタに接続します
4	DisplayPort コネクタ	DisplayPort ビデオ ケーブルをモニタに接続します
5	DVI-I コネクタ	DVI/VGA ビデオ ケーブルまたは DVI/DVI-D ビデオ ケーブルをモニタに接続します
6	USB アップストリーム コネクタ	モニタの USB ハブ ケーブルをコンピュータの USB コネクタ/ハブに接続します
7	USB ダウンストリーム コネクタ	別売の USB デバイスをモニタに接続します
8	USB ダウンストリーム コネクタ（サイド パネル）	別売の USB デバイスをモニタに接続します

HP LP2475w モデル

図 3-3 背面の各部

表 3-2 HP LP2475w の背面の各部

名称		機能
1	セキュリティ ロック ケーブル用スロット	セキュリティ ロック ケーブル用のスロットです
2	主電源スイッチ	モニタのすべての電源をオフにします
3	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニタに接続します
4	DisplayPort コネクタ	DisplayPort ビデオ ケーブルをモニタに接続します
5	HDMI コネクタ	HDMI ビデオ ケーブルをモニタに接続します
6	DVI-I コネクタ	DVI/VGA ビデオ ケーブルまたは DVI/DVI-D ビデオ ケーブルをモニタに接続します
7	SPDIF オーディオ コネクタ	外部の受信機または増幅器のデジタル オーディオ入力からのオーディオ ケーブルをモニタに接続します **注記：** SPDIF コネクタは、HDMI ビデオ入力の場合にのみ使用します。その他のビデオ入力のオーディオについてはサポートされません
8	S ビデオ コネクタ	S ビデオ ケーブルをモニタに接続します
9	コンポジット コネクタ	コンポジット ビデオ ケーブルをモニタに接続します
10	コンポーネント コネクタ	コンポーネント ビデオ ケーブルをモニタに接続します
11	USB アップストリーム コネクタ	モニタの USB ハブ ケーブルをコンピュータの USB コネクタ/ハブに接続します
12	USB ダウンストリーム コネクタ	別売の USB デバイスをモニタに接続します
13	USB ダウンストリーム コネクタ（サイド パネル）	別売の USB デバイスをモニタに接続します

ビデオ ケーブルの選択および接続

モニタの入力信号は、モデルにより異なります。次の表では、モニタの各モデルでサポートされる入力ビデオ信号が示されています。

注記： ビデオ入力コネクタの場所については、7 ページの 「背面の各部」を参照してください。

入力系統から、有効なビデオ信号がモニタ側で自動的に判別されます。ビデオ信号の入力を選択するには、フロント パネルにある入力ボタン（HP LP2275w モデルの場合）またはクイック選択ボタン（HP LP2475w モデルの場合）を押してオンスクリーン ディスプレイ（OSD）機能を使用します。

表 3-3 信号コネクタおよびケーブル

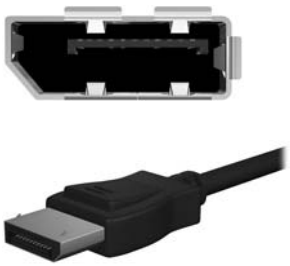
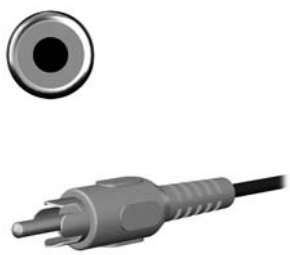
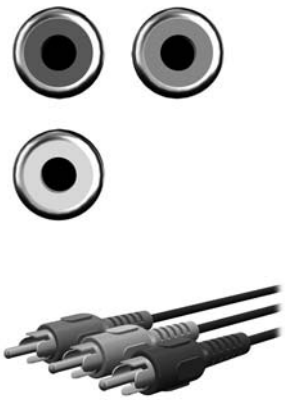
入力	モニタのコネクタおよびケーブル プラグ	接続についての説明
DVI-I （HP LP2275w） （HP LP2475w）		DVI-I コネクタでサポートされるビデオ モードは、使用するビデオ ケーブルによって決定されます • デジタル操作の場合は、付属の DVI/DVI-D ビデオ ケーブルを使用します。付属の DVI/DVI-D ビデオ ケーブルの一方の端をモニタの DVI-I コネクタに接続し、もう一方の端をコンピュータの DVI-D コネクタに接続します • アナログ操作を行う場合は、付属の DVI/VGA ビデオ ケーブルを使用します。DVI/VGA ビデオ ケーブルの一方の端をモニタの DVI-I コネクタに接続し、もう一方の端をコンピュータの VGA コネクタに接続します
DisplayPort （HP LP2275w） （HP LP2475w）		デジタル操作の場合は、付属の DisplayPort ケーブルの一方の端をモニタの DisplayPort コネクタに接続し、もう一方の端をコンピュータの DisplayPort コネクタに接続します **注記：** 接続すると、DisplayPort ケーブルは定位置で固定されます。DisplayPort ケーブルを取り外すには、ケーブルの端の上にあるボタンを押してコネクタからケーブルの端を引き抜きます
HDMI （HP LP2475w）		デジタル操作の場合は、付属の HDMI ケーブルの一方の端をモニタの HDMI コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI コネクタに接続します **注記：** HDMI 信号からのオーディオ出力の場合は、オーディオ ケーブルの一方の端をモニタの SPDIF オーディオ出力に接続し、もう一方の端を外部の受信機または増幅器の SPDIF オーディオ出力に接続します
SPDIF （HP LP2475w）		HDMI ビデオ入力を使用する場合、SPDIF オーディオ ケーブルの一方の端をモニタに接続し、もう一方の端をデジタル オーディオの外部の受信機または増幅器に接続します。ケーブルは別売です **注記：** SPDIF コネクタは、HDMI ビデオ入力の場合にのみ使用します。その他のビデオ入力のオーディオについてはサポートされません

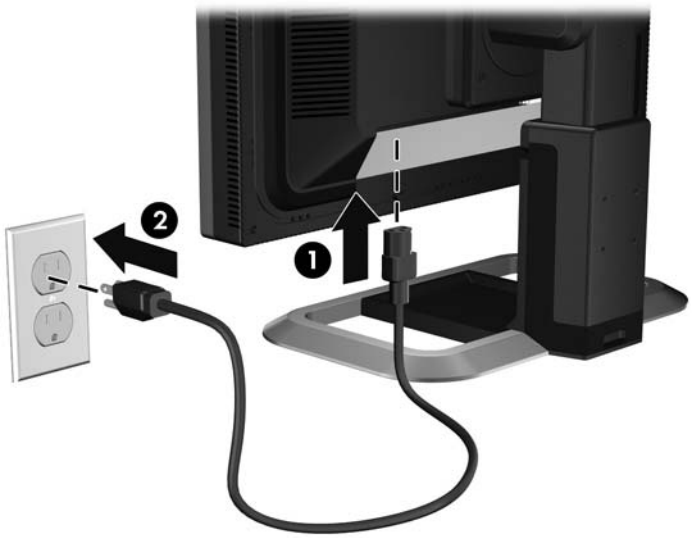
表 3-3 信号コネクタおよびケーブル (続き)

入力	モニタのコネクタおよびケーブル プラグ	接続についての説明
コンポーネント（Y Pb Pr） （HP LP2475w）		アナログ操作の場合は、コンポーネント ケーブル セットの一方の端をモニタのコンポーネント コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスのコンポーネント コネクタに接続します。ケーブルは別売です
S ビデオ （HP LP2475w）		アナログ操作の場合は、S ビデオ ケーブルの一方の端をモニタの S ビデオ コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスの S ビデオ コネクタに接続します。ケーブルは別売です
コンポジット （HP LP2475w）		アナログ操作の場合は、コンポジット ケーブルの一方の端をモニタのコンポジット コネクタに接続し、もう一方の端を入力デバイスのコンポジット コネクタに接続します。ケーブルは別売です

モニタの電源の接続

1. モニタを、作業がしやすく通気のよい、コンピュータの近くの場所に置きます。
2. 電源コードの一方の端をモニタのリア パネルの外部電源コネクタに接続し（1）、もう一方の端を電源コンセントに差し込みます（2）。

図 3-4 電源ケーブルの接続



⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は、製品を安全に使用するために欠かせないものです。

・電源コードは、モニタの近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに差し込んでください。

・装置への外部電源の供給を遮断するには、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っ張らないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。

USB デバイスの接続

モニタにはサイド パネルおよびリア パネルに USB コネクタがあり、デジタル カメラ、USB キーボード、USB マウスなどのデバイスを接続するために使用されます。

1. USB ハブ ケーブルの一方の端をコンピュータのリア パネルの USB コネクタに接続して、もう一方の端をモニタの USB アップストリーム コネクタに接続します。
2. モニタのリア パネルまたはサイド パネルの USB ダウンストリーム コネクタに、USB デバイスを接続します。

図 3-5 USB デバイスの接続

ケーブルの管理

モニタ台の側面のケーブル ガイドに沿ってケーブルを取り付けます。

図 3-6 ケーブル管理機能の使用

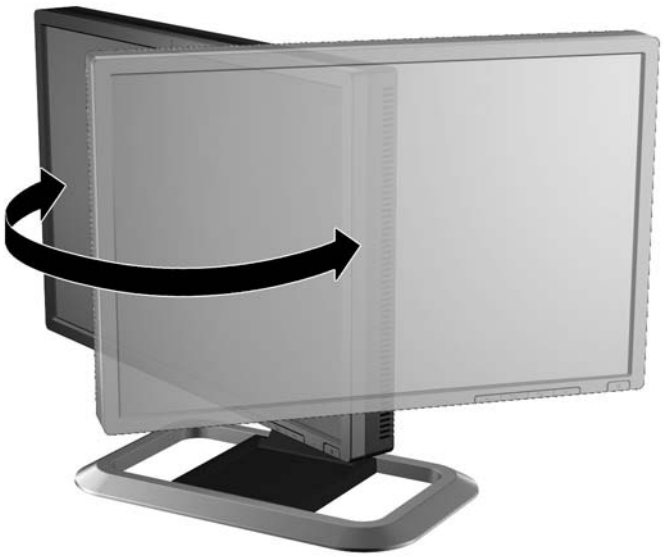
モニタの調整

1. モニタのパネルを前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。

図 3-7 上下の向きの調節

2. モニタを左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。

図 3-8 左右の向きの調整



3. モニタの高さを、目の高さに平行な見やすい位置に調整します。支柱の前面にあるロックダウン/リリース ボタンは、モニタ本体を持ち上げたときにモニタが上へスライドすることを防ぎます。モニタ本体が最も低い高さに固定されている場合は、以下の手順で操作します。

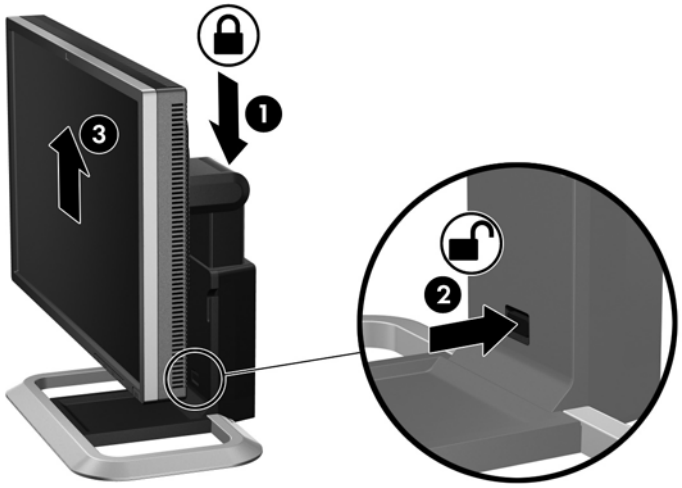
   a. モニタが平らで安定した台の上に安全に設置されていることを確認します。

   b. モニタ本体を軽く押し下げます（1）。

   c. モニタ本体を押し下げたまま、支柱の前面にあるロックダウン/リリース ボタンを押します（2）。

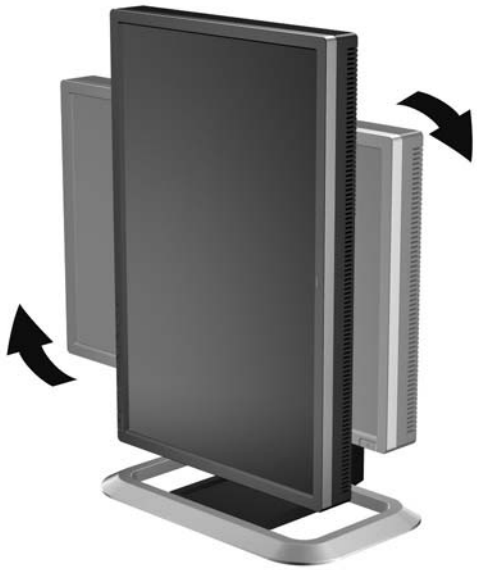
   d. モニタ本体を希望の高さまで持ち上げます（3）。

図 3-9 高さの調整



4. 必要に応じて、モニタの表示方向を横向きから縦向きに時計回りに回転します。

図 3-10 モニタの回転



注記： 情報を縦向きに表示するには、Software and Documentation CD（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）に収録されている[Pivot Pro]ソフトウェアをインストールする必要があります。オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの配置も縦向きに変更できます。OSD メニューの配置を変更するには、モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押し、[**OSD Control**]（OSD コントロール）→[**OSD Rotation**]（OSD 回転）の順に選択します。

モニタの電源投入

1. 電源スイッチを押してコンピュータの電源を入れます。
2. モニタのリア パネルの主電源スイッチが（I）位置にあることを確認します。
3. モニタのフロント パネルにある電源ボタンを押します。

△ **注意：** モニタに長時間一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。*モニタ画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーン セーバ アプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニタを使用しないときはモニタの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。

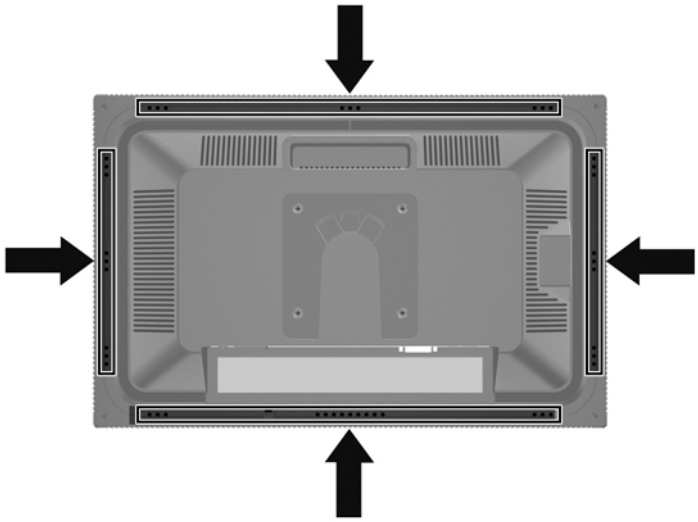
*ここで長時間とは、使用されていない状態が 12 時間連続することを指します。

注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニタの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

アクセサリ レールの使用

モニタの背面にはアクセサリ レールがあり、HP スピーカ バーなどのオプション デバイスをモニタに取り付けるために使用します。取り付け方法について詳しくは、別売のデバイスに付属の説明書を参照してください。

図 3-11 アクセサリ レールの使用



モニタ台の取り外し

モニタ パネルを壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けるために、モニタ台からパネルを取り外すことができます。

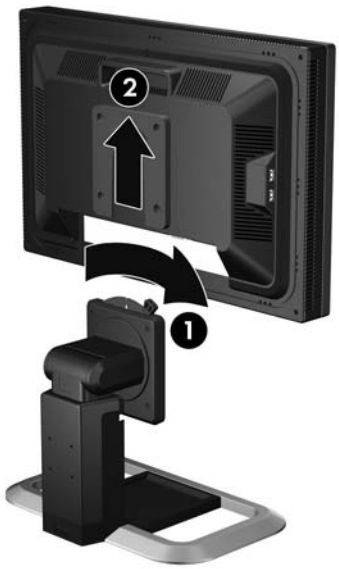
このモニタはクイック リリース メカニズムを備えており、モニタ台からモニタ パネルを容易に取り外したり交換したりできます。

△ **注意：** モニタの取り外し作業を始める前に、モニタの電源が切られていること、および電源ケーブルとビデオ ケーブルを取り外してあることを確認してください。モニタに接続している USB ケーブルがある場合は、それも外してください。

1. モニタの背面からビデオ ケーブルおよび電源ケーブルを取り外します。
2. モニタ台のクイック リリース ラッチを、横（左右のどちらか）にスライドさせます（1）。

3. モニタ本体をモニタ台から引き上げて取り外します（2）。

図 3-12 モニタのモニタ台からの取り外し



モニタの取り付け

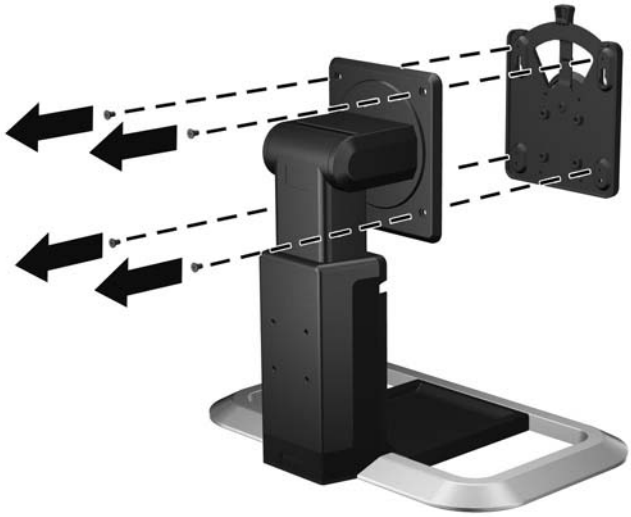
HP クイック リリースをモニタ台から取り外し、固定器具に取り付けることができます。これにより、モニタ パネルを固定器具にすばやく、しっかりと接続することができます。

1. モニタ パネルをモニタ台から取り外します。16 ページの 「モニタ台の取り外し」を参照してください。

△ **注意：** このモニタは、VESA 準拠の 10 cm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニタに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジ（モニタに付属していません）を使用する必要があります。これより長いネジは、モニタを損傷する恐れがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニタのディスプレイ パネルの重量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニタに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。

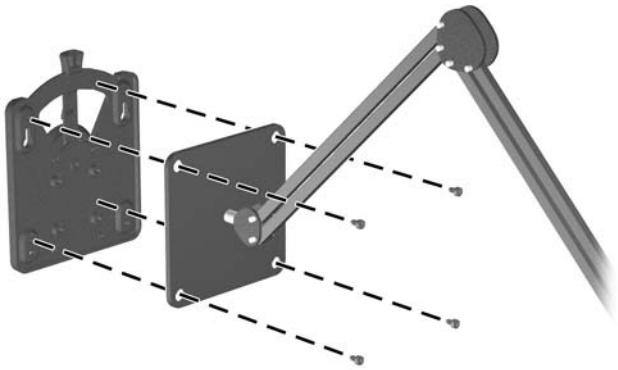
2. 4 つのネジを取り外して、モニタ台からクイック リリースを取り外します。

図 3-13 HP クイック リリースのモニタ台からの取り外し



3. 前の手順でクイック リリースから取り外した 4 つのネジを使用して、クイック リリースをスイング アームまたはその他の固定器具に取り付けます。

図 3-14 クイック リリースの取り付け



△ **注意：** クイック リリースを直接壁に取り付けてモニタのパネルを取り付けることもできます。クイック リリースは、最大 10.9 kg の重量を支えられるように設計されています。壁に取り付ける場合は、必要なネジの種類や数の判断、および実際の重量を支えられるように正しく取り付けられているかどうかの確認について、工学分野または建築学分野の資格を持つ技術者に相談することをおすすめします。

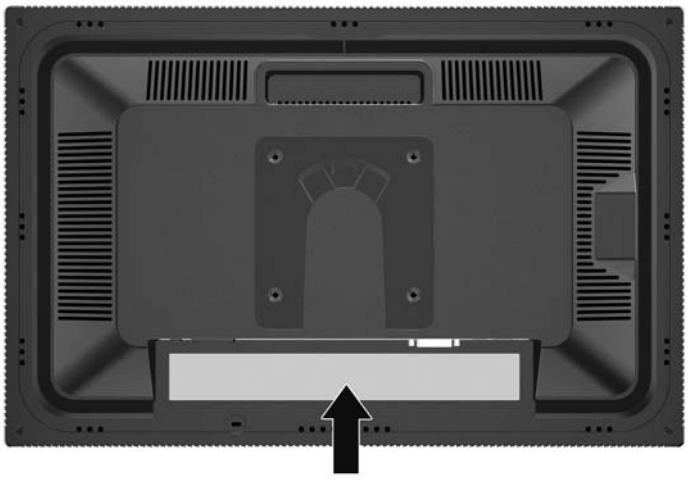
4. モニタ パネルをクイック リリースに差し込み、モニタをしっかりと押し下げて所定の位置に固定します。クイック リリースが固定されるとカチッという音がします。

図 3-15 モニタ パネルのクイック リリースへの取り付け

製品ラベルの位置

モニタの製品ラベルには交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニタについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニタ本体のリア パネル部分にあります。

図 3-16 製品ラベルの位置



4　モニタの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ

モニタ付属の CD には、コンピュータにインストール可能な以下のファイルが収録されています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル
- 自動調整用パターン ユーティリティ
- モニタ モデルごとのその他のソフトウェア

[PDF Complete]はこの CD に収録されており、メニューからインストールできます。

注記：　モニタに CD が付属していない場合は、.INF および.ICM ファイルを HP モニタ サポート Web サイトからダウンロードすることができます。この章の21 ページの 「Web サイトからのダウンロード」を参照してください。

情報ファイル

.INF ファイルは、モニタとお使いのコンピュータのグラフィックス アダプタとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows®オペレーティング システムが使用するモニタ リソースを定義します。

このモニタは Microsoft Windows プラグ アンド プレイ機能に対応しており、.INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニタのプラグ アンド プレイ機能を利用するには、コンピュータのグラフィックス カードが VESA DDC2 に準拠しており、モニタが直接グラフィックス カードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグ アンド プレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

.ICM ファイルはグラフィックス プログラムとともに使用されるデータ ファイルで、モニタとプリンタ間またはスキャナとモニタ間の色調を調整します。このファイルにはモニタのカラー システム プロファイルが含まれており、プロファイルをサポートするグラフィックス プログラムの実行時に有効になります。

注記：　.ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

.INF および.ICM ファイルのインストール

.INF および.ICM ファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルを CD からインストールするか、Web サイトからダウンロードできます。

CD からのインストール

.INF および.ICM ファイルを CD からコンピュータにインストールするには、以下の手順で操作します。

1. CD をコンピュータの CD-ROM の読み出しが可能なオプティカル ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
2. **[Monitor Driver Software Readme]**（モニタ ドライバ ソフトウェアの Readme）ファイルを読みます。
3. **[Install Monitor Driver Software]**（モニタ ドライバ ソフトウェアをインストールする）を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュ レートが表示されていることを確認します。

注記： インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニタの.INF および.ICM ファイルを手動でインストールする必要があります。CD の[Monitor Driver Software Readme]ファイルを参照してください。

Web サイトからのダウンロード

最新のバージョンの.INF および.ICM ファイルを HP モニタ サポート Web サイトからダウンロードするには、以下の手順で操作します。

1. http://www.hp.com/support/にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]を選択してお使いの製品名などを[製品名・番号で検索:]ボックスに入力し、[>>]ボタンをクリックしてサポート ページおよびダウンロード ページへのリンクをクリックします。
3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

自動調整機能の使用

モニタのー（**マイナス**）/**自動**ボタンおよび付属の CD に収録されている自動調整用パターン ソフトウェア ユーティリティを使用して、VGA（アナログ）入力対応の画面の画質を最適化します。

お使いのモニタが DVI-D、HDMI、または DisplayPort 入力対応の場合は、この手順を行わないでください。お使いのモニタが VGA（アナログ）入力対応の場合は、この手順を行うことで次の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 画面の中央に表示できない画像

自動調整機能を使用するには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源を入れてから 20 分間のウォーム アップ時間をとります。
2. モニタのフロント パネルにあるー/自動ボタンを押します。
   - メニュー ボタンを押し、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メイン メニューから**[Image Control]**（イメージ コントロール）→**[Auto Adjustment]**（自動調整）の順に選択することもできます。この章の25 ページの 「モニタの設定の調整」を参照してください。
   - 希望する結果が得られない場合は、引き続き以下の手順で操作します。
3. CD をディスク ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
4. **[Open Auto-Adjustment Software]**（自動調整ソフトウェアを開く）を選択します。セットアップのためのテスト パターンが表示されます。
5. モニタのフロント パネルにあるー/自動ボタンをを押して、画像を安定させ中央に表示します。
6. ESC キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テスト パターンを終了します。

フロント パネルの各部

フロント パネルの各部の位置と名称は、モデルにより異なります。

HP LP2275w モデル

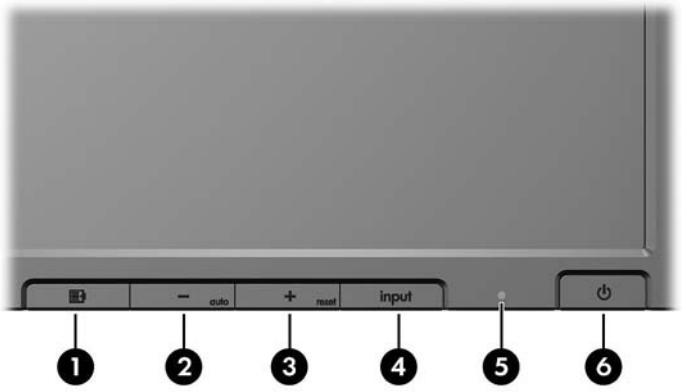


表 4-1 HP LP2275w モニタのフロント パネルの各部

名称		機能
1	メニュー	OSD（オンスクリーン ディスプレイ）メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
2	−（マイナス）/自動	• メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます • OSD メニューが表示されていないときに押すと、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます
3	＋（プラス）/リセット	• メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます • オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューが無効の場合、工場出荷時の設定にリセットされます
4	入力	ビデオ入力（DVI または DisplayPort）を選択します
5	電源ランプ	電源が入っている状態：緑色 スリープ モード：オレンジ色 スリープ タイマ モード：オレンジ色で点滅
6	電源ボタン	モニタのオン/オフを切り替えます

HP LP2475w モデル

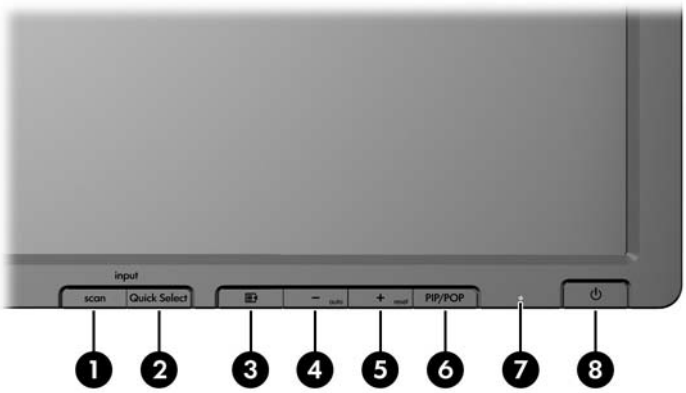


表 4-2 HP LP2475w モニタのフロント パネルの各部

名称		機能
1	入力/スキャン	有効な信号のビデオ入力をすべてスキャンします
2	入力/クイック選択	クイック選択のための有効なビデオ入力信号を表示します
3	メニュー	OSD（オンスクリーン ディスプレイ）メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
4	－（マイナス）/自動	• メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます • OSD メニューが表示されていないときに押すと、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます
5	＋（プラス）/リセット	• メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます • オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューが無効の場合、工場出荷時の設定にリセットされます
6	PIP/POP	PIP（Picture-In-Picture）または POP（Picture-Outside-Picture）のオン/オフを切り替えます **注記：** PIP/POP 機能は、最初に OSD メニューを使用してセットアップする必要があります。PIP/POP、入力ソース、ウィンドウ サイズ、および画面の位置の選択をするには、OSD メニューから[Video Input Control]（ビデオ入力コントロール）を選択します
7	電源ランプ	電源が入っている状態：緑色 スリープ モード：オレンジ色 スリープ タイマ モード：オレンジ色で点滅
8	電源ボタン	モニタのオン/オフを切り替えます

モニタの設定の調整

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）または[HP Display Assistant]ユーティリティを使用して、モニタの設定を調整することができます。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの使用

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を使用して、ユーザの好みに応じて画面表示を調整します。OSD にアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. モニタの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニタの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押します。

3. OSD メニュー内を移動するには、モニタのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、－（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。
4. OSD メニューから項目を選択するには、＋ボタンか－ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、メニュー ボタンを押して機能を選択します。
5. フロント パネルの＋ボタンか－ボタンを押して値やスケールを調整します。
6. 機能を調整したら**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択するか、設定を保存しない場合は**[Cancel]**（キャンセル）を選択し、**[Main Menu]**（メイン メニュー）から**[Exit]**（終了）を選択します。

注記： メニューが表示されているときに 10 秒以上ボタンを押さない場合、調整が無効になり、以前の設定に戻ってメニューが終了します。

OSD メニューの選択

次の表で、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）のメニュー項目と各機能について説明します。OSD のメニュー項目を変更した後、メニュー画面に次のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

- **[Cancel]**（キャンセル）：前のメニューレベルに戻ります。
- **[Save and Return]**（保存して戻る）：すべての変更を保存して、OSD メイン メニューの画面に戻ります。この[Save and Return]オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。
- **[Reset]**（リセット）：前の設定に戻ります。

表 4-3 OSD メニュー

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	Brightness（輝度）	調整用スケール	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期値は 90 です
	Contrast（コントラスト）	調整用スケール	画面のコントラスト レベルを調整します。工場出荷時の初期値は 80 です
	Image Control（イメージ コントロール）		画像を調整します
		Auto Adjustment（自動調整）	画像を自動的に調整します
		Horizontal Position（水平表示位置）	画像の左右の位置を調整します
		Vertical Position（垂直表示位置）	画像の上下の位置を調整します
		Custom Scaling（カスタム スケール）	モニタへの情報の表示方法を選択します。以下のどれかの方法を選択します • Fill to Screen（スクリーンに合わせる）：画像が画面全体を占め、高さと幅が不均等なため歪んだり引き伸ばしたように見えたりします • Fill to Aspect Ratio（縦横比に合わせる）：画像が画面に合うように調整されて、均等な画像表示を維持します • One-to-one（1 対 1）：ビデオ スケーリングを無効にして、画面の表示可能領域の中央に、表示可能サイズよりさらに小さい画像を表示します
		Clock（クロック）	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock] を調整することで、画像の水平表示も変更されます
		Clock Phase（クロック フェーズ）	画面の焦点を調整します。これにより、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります
	Color（色）		画面の色を選択します。工場出荷時の初期値は、モデルに応じて 6500 K またはカスタム カラーです
		9300 K	わずかに青味を帯びた白色に変更します
		6500 K	わずかに赤味を帯びた白色に変更します
		Custom Color（カスタム カラー）	カラー スケールを選択および調整します • R：赤色のレベルを設定します • G：緑色のレベルを設定します • B：青色のレベルを設定します
		sRGB	画面の色をイメージ テクノロジ業界で使用される規格に準拠した色に設定します
		Color Saturation（色彩）	色の明暗を調整するためのスケールです
		Color Tint（色合い）	色の濃淡を調整するためのスケールです

表 4-3 OSD メニュー (続き)

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	Language（言語）		OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定言語は英語です
	Management（マネジメント）		モニタの電源管理機能を調整します
		Power Saver（省電力）	省電力機能を有効にします。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Power On Recall（再開時に電源オン）	予期せず電源がオフになった後にモニタへの電力を復旧します。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Mode Display（モード表示）	OSD メイン メニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュ レートおよび周波数の情報を画面に表示します。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定は、オンまたはオフです（モデルによって異なります）
		Power-On Status Display（電源オンのステータス表示）	モニタの電源がオンになるたびに、モニタの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を次の中から選択します • Top（上） • Middle（中） • Bottom（下） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定は、オンまたはオフです（モデルによって異なります）
		DDC/CI Support（DDC/CI サポート）	コンピュータで、輝度、コントラスト、色温度などの一部の OSD メニュー機能を制御できるようにします。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Bezel Power LED（ベゼルの電源ランプ）	フロント パネルの電源ランプをオンまたはオフにします。次のうちどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ）

表 4-3 OSD メニュー (続き)

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
			工場出荷時の初期設定はオンです
		Sleep Timer（スリープ タイマ）	タイマ調整のメニュー オプションを表示します • Set Current Time（現在時刻の設定）：時間と分単位で現在の時刻を設定します • Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）：モニタがスリープ モードに入る時刻を設定します • Set on Time（電源オンの時刻の設定）：スリープ モードから復帰する時刻を設定します • Timer（タイマ）：スリープ タイマ機能のオン/オフを設定します。初期設定はオフです • Sleep Now（スリープ モードの実行）：ただちにモニタがスリープ モードに入るように設定します
	OSD Control（OSD コントロール）		画面上の OSD メニューの位置を調整します
		Horizontal OSD Position（水平 OSD 表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します。工場出荷時の初期値は 50 です
		Vertical OSD Position（垂直 OSD 表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します。工場出荷時の初期値は 50 です
		OSD Transparency（OSD 透明度）	OSD の背景にある情報を表示するよう調整します
		OSD Timeout（OSD タイムアウト）	ボタンを押してから OSD が表示され続ける時間の長さを秒単位で設定します。工場出荷時の初期値は 30 秒です
		OSD Rotation（OSD 回転）	横向きまたは縦向きを選択します
	Video Input Control（ビデオ入力コントロール）（LP2275w モデル）		モニタのビデオ入力信号を制御します
		Switch Video Input（ビデオ入力切り換え）	ビデオ入力信号（DVI-I-1 デジタル、DVI-I-1 アナログ、または DisplayPort）を選択します。初期設定値は DVI-I-1 デジタルです
		Auto-Switch Input（自動入力切り換え）	システムの自動ビデオ信号入力のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオンです
		Default Video Input（初期設定のビデオ入力）	モニタが 2 つの有効なビデオ ソースに接続されている場合に、初期設定または最優先されるビデオ入力信号（DVI-I-1 デジタル、DVI-I-1 アナログ、または DisplayPort）を選択します
	Video Input Control（ビデオ入力コントロール）（LP2475w モデル）		モニタのビデオ入力信号を制御します
		Default Video Input（初期設定のビデオ入力）	以下のどれか 1 つを、初期設定または最優先されるビデオ入力信号として設定します。DVI-I-1 デジタル、DVI-I-1 アナログ、DVI-I-2 デジタル、DVI-I-2 アナログ、DisplayPort、HDMI、S ビ

表 4-3 OSD メニュー (続き)

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
			デオ、コンポジット、コンポーネント、または自動検出。工場出荷時の初期設定は自動検出です **注記：** [Video Input Detect Mode]（ビデオ入力検出モード）および[Input Switch Mode]（入力切り換えモード）メニュー項目の機能を有効にするには、[Default Video Input]（初期設定のビデオ入力）を自動検出に設定する必要があります。
		Video Input Detect Mode（ビデオ入力検出モード）	**注記：** [Video Input Detect Mode]の機能を有効にするには、[Default Video Input]を自動検出に設定する必要があります フロント パネルのスキャン ボタンの操作を制御します。次のうちどちらかを選択します • Automatic Input Scan（自動入力スキャン）：スキャン ボタンを押すと、自動的にすべてのビデオ入力について有効な信号があるかどうかがスキャンされます • Manual Input Scan（手動入力スキャン）：スキャン ボタンを押すと、ビデオ入力ごとに有効な信号があるかどうかがスキャンされます 工場出荷時の初期設定は自動入力スキャンです
		Input Switch Mode（入力切り換えモード）	**注記：** [Input Switch Mode]の機能を有効にするには、[Default Video Input]を自動検出に設定する必要があります 現在のビデオ入力が取り外されているか、省電力モードになっている場合のモニタ アクションを制御します。次のうちどちらかを選択します • Input Auto-Switching OFF（入力自動切り換えオフ）：表示されている入力が取り外されているか、省電力モードになっている場合、モニタはアクションを実行しません • Input Auto-Switching ON（入力自動切り換えオン）：現在表示されているビデオ入力が取り外されているか、省電力モードになっている場合、モニタは自動的に有効な入力を検索して表示します 工場出荷時の初期設定はオフです
		PIP/POP Select（PIP/POP の選択）	セカンダリ ウィンドウのタイプを選択します次のうちどちらかを選択します • PIP - Picture In Picture：セカンダリ ウィンドウはプライマリ ウィンドウ内で小さなウィンドウとして表示されます • POP - Picture Outside Picture：セカンダリ ウィンドウはプライマリ ウィンドウの横に表示されます
		PIP/POP Source（PIP/POP のソース）	PIP/POP ウィンドウの入力ソースを選択します。[Composite Video]（コンポジット ビデオ）、[S-Video]（S ビデオ）、および[Component Video](コンポーネント ビデオ）から選択します **注記：** メイン ウィンドウでは、すべての入力がサポートされますが、セカンダリ ウィンドウではコンポジット、S ビデオ、およびコンポーネント入力のみサポートされます。
		PIP Size（PIP のサイズ）	PIP ウィンドウのサイズを選択します。[Small]（小）、[Medium]（中）、および[Large]（大）から選択します

表 4-3 OSD メニュー (続き)

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
		PIP Position（PIP の位置）	画面上の PIP ウィンドウの位置を選択します。[Top Left]（左上）、[Top Right]（右上）、[Bottom Right]（右下）、および [Bottom Left]（左下）から選択します
	Information（情報）		モニタに関する重要な情報を選択/表示します
		Current Settings（現在の設定）	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings（推奨設定）	お使いのモニタに推奨される解像度モードおよびリフレッシュレートを表示します
		Serial Number（シリアル番号）	モニタのシリアル番号を表示します。シリアル番号は HP のテクニカル サポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		Version（バージョン）	モニタのファームウェア バージョンを表示します
		Backlight Hours（バックライト動作時間）	バックライトの合計の動作時間を表示します
	Factory Reset（出荷時設定にリセット）		すべての OSD メニュー設定および DDC/CI サポートの設定を工場出荷時の初期設定に戻します。ただし、言語設定は除きます
	Exit（終了）		OSD メニュー画面を終了します

デジタル コンバージョンの最適化

OSD メニューの[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。

注記： [Clock]および[Clock Phase]機能はアナログ入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Clock Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。自動調整機能を使用しても希望する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

- [**Clock**]：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- [**Clock Phase**]：画像の歪みまたはぶれを最小限に抑えます。

注記： これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェア ユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]および[Clock Phase]の設定値を調整しているときにモニタの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSD メニューの[Factory Reset]（出荷時設定にリセット）から[Yes]（はい）を選択します。

[HP Display Assistant]ユーティリティの使用

［HP Display Assistant］は Software and Documentation CD（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）に収録されているソフトウェア ユーティリティで、わかりやすい操作手順およびモニタの調整機能ごとの画面パターンにより、設定の調整を可能にします。［HP Display Assistant］では、次の機能が使用できます。

- 操作手順のウィザードを使用した正確な画面調整（画質を全体的に最適な状態にします）
- ソフトウェアによるモニタ画像および色の設定（モニタのフロント パネルのボタンとオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューでの設定に依存する必要がなくなります）
- マルチユーザ環境でのユーザ別に定義済みの、プリセット ディスプレイ設定
- 表示内容および周辺光に基づいた、シングル ユーザ向けの複数のプリセット ディスプレイ設定
- 資産管理および電源管理の機能（中央コンソール アプリケーションによる、ドメイン上の個々または複数のディスプレイのリモート制御を含みます）

［HP Display Assistant］ユーティリティには 2 つの操作モード（ウィザード モードおよび OSD モード）があります。手順に沿った操作で正確な画面調整を行える、ウィザード モードの使用をおすすめします。この操作モードは一連の手順で構成されており、手順の完了とともに画面が最適な状態に設定されます。

注記： このソフトウェアについて詳しくは、［HP Display Assistant］の説明書を参照してください。

モニタの状態の確認

モニタが以下の状態になると、特別なメッセージがモニタ画面に表示されます。

- **[Input Signal Out of Range– Change resolution setting to 1680 x 1050 - 60Hz]**：解像度およびリフレッシュ レートがモニタでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニタが入力信号をサポートできないことを示します。解像度を 1680×1050、リフレッシュ レートを 60 Hz に設定してください（LP2275w モデルの場合）。
- **[Input Signal Out of Range– Change resolution setting to 1920 x 1200 - 60Hz]**：解像度およびリフレッシュ レートがモニタでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニタが入力信号をサポートできないことを示します。解像度を 1920×1200、リフレッシュ レートを 60 Hz に設定してください（LP2475w モデルの場合）。
- [**No Input Signal**]：モニタがビデオ入力コネクタでコンピュータからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピュータまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。
- [**Multiple Inputs are Active– Use the OSD to select the desired video input**]：モニタが 2 つのビデオ入力に接続されていることを示します。両方の入力の表示が試みられますが、10 秒後に初期設定の信号入力が使用されます。
- [**Auto Adjustment is in Progress**]：自動調整機能が有効であることを示します。
- [**Monitor Going to Sleep**]：モニタがスリープ モードになることを示します。
- [**Check Video Cable**]：ビデオ ケーブルがコンピュータに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lockout]**：フロント パネルにあるメニュー ボタンを 10 秒間押し続けると、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を有効または無効にできます。OSD をロックすると、**[OSD Lockout]**（OSD ロックアウト）という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - OSD がロックされている場合、ロックを解除するにはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けます。
  - OSD のロックが解除されている場合、ロックするにはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けます。
- **[Power Button Lockout]**：電源ボタンがロックされていることを示します。電源ボタンをロックすると、**[Power Button Lockout]**（電源ボタンのロックアウト）という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - 電源ボタンがロックされている場合、ロックを解除するには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
  - 電源ボタンのロックが解除されている場合、ロックするには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

スリープ タイマ モード

スリープ タイマ モードは、毎日同じ時刻にモニタの電源を入れたり切ったりするように設定できる省電力機能です。この省電力機能を使用すると、モニタのバックライトの寿命を延ばすことができます。スリープ タイマ モードには 5 つの設定があります。

- Set Current Time（現在時刻の設定）
- Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）
- Set On Time（電源オンの時刻の設定）
- Timer: On/Off（タイマ：オン/オフ）
- Sleep Now（スリープ モードの実行）

タイマを設定するには、以下の手順で操作します。

1. モニタのフロント パネルのメニュー ボタンを押して**[OSD Menu]**（OSD メニュー）を表示します。
2. メニューを下に移動して**[Management]**（マネジメント）を強調表示します。
3. メニュー ボタンを押して**[Management]**を選択します。
4. メニューを下に移動して**[Sleep Timer]**（スリープ タイマ）→**[Set Current Time]**の順に強調表示し、選択します。

> **注記：** 必ず現在の時刻をあらかじめ設定しておいてから**[Sleep Time]**（電源オフの時刻）や**[ON Time]**（電源オンの時刻）を設定してください。時刻は 24 時間単位で表示されます。たとえば、午後 1 時 15 分は 13 時 15 分と表示されます。

5. メニュー ボタンを一度押すと調整モードとなり、時間が点滅します。
6. －（マイナス）ボタンおよび＋（プラス）ボタンを使って時間を設定します。
7. メニュー ボタンを再度押すと、分が点滅します。
8. －ボタンおよび＋ボタンを使って分を設定します。
9. メニュー ボタンを押すと、設定した時刻が確定します。
10. 現在時刻を設定すると、自動的に**[Set Sleep Time]**へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順 6 ～ 9 を繰り返し行って電源オフの時刻を調整します。
11. 電源オフの時刻を設定しない場合は、メニュー ボタンを 2 回押し、**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。
12. 電源オフの時刻を設定すると、自動的に**[Set On Time]**へスキップし、時間が強調表示され点滅します。手順 6 ～ 9 を繰り返し行って電源オンの時刻を調整します。
13. **[Timer]**（タイマ）のモードを**[ON]**（オン）に設定し、スリープ タイマの設定を起動します。
14. 設定が完了したら、**[Save and Return]**を押してメニューを終了します。

5 番目の選択項目**[Sleep Now]**を選択すると、モニタのバックライトがオフになり、スリープ モードになります。設定した電源オンの時刻になるか、またはモニタ ボタンを押すと、電源がオンになります。

HP Display LiteSaver

[HP Display LiteSaver]は、モニタの寿命を延ばし、省電力を実現するためのソフトウェア アプリケーションで、付属の CD に収録されています。このソフトウェアを使用すると、大部分の内部回路への電源供給を停止または供給量を削減することによって、あらかじめ設定した時間にモニタを省電力スリープ モードに移行できます。これは、画像の焼き付きから LCD パネルを保護するために役立ちます。画像の焼き付きは、モニタに長時間同じ画像を表示したまま放置しておいたときに、画面上に残像が形成されて発生します。

[HP Display LiteSaver]ソフトウェアのインストール

1. CD をコンピュータの CD-ROM の読み出しが可能なオプティカル ドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます。
2. **[HP Display LiteSaver ソフトウェアのインストール]**を選択します。
3. ソフトウェアがインストールされたら、Windows システム トレイの**[HP Display LiteSaver]**アイコンをクリックするか、またはアイコンを右クリックしてポップアップ メニューから**[Configure]**（設定）を選択します。
4. 以下のオプションを選択して、[HP Display LiteSaver]の機能を設定します。

表 4-4 [HP Display LiteSaver]の設定オプション

オプション	機能
Enable Display LiteSaver（Display LiteSaver の有効化）	[HP Display LiteSaver]の機能を有効にします。[HP Display LiteSaver]を無効にするには、選択を解除します
Display Off（ディスプレイの電源切断）	モニタの電源を自動的に切る時間を設定します。このオプションは、スクリーン セーバの動作には影響しません。[HP Display LiteSaver]よりスクリーン セーバの方が優先されます
Display On（ディスプレイの電源投入）	モニタの電源を自動的に入れる時間を設定します。このオプションは、スクリーン セーバの動作には影響しません。[HP Display LiteSaver]よりスクリーン セーバの方が優先されます
Activity Extension（動作延長）	[Display Off]時間に達した後で何らかのキーボードまたはマウス操作が行われた場合に、モニタの電源を切るまでの時間を分単位で設定します。キーボードまたはマウスが使用されている場合は、再度モニタの電源を切る前に、[HP Display LiteSaver]は設定された時間が経過するまで待機します。このオプションを無効にするには、0 を設定します。このオプションが無効になっていると、キーボードまたはマウス操作には関係なく、[Display Off]時間に達するとすぐにモニタの電源が切れます
Show 1 minute Display Off Notice（ディスプレイの電源切断 1 分前に通知を表示）	[HP Display LiteSaver]によりモニタの電源が切れる 1 分前に、システム トレイにポップアップ メッセージを表示します
Status（ステータス）	[HP Display LiteSaver]により次にモニタの電源が切れるまでの時間を表示します
OK	現在の設定を保存し、[HP Display LiteSaver]をシステム トレイに最小化します
[Cancel]（キャンセル）	以前の設定に戻し、[HP Display LiteSaver]をシステム トレイに最小化します。[HP Display LiteSaver]は引き続き作動します
Help（ヘルプ）	ヘルプ ファイルを開きます
Exit（終了）	[HP Display LiteSaver]を終了します。次に起動されるまで、モニタ電源の制御は行われません

[HP Display LiteSaver]の設定方法について詳しくは、CD に収録されている[HP Display LiteSaver の Readme]を参照してください。

sRGB のサポート

お使いのモニタは、色管理の技術として sRGB をサポートするように設計されています。sRGB はイメージ テクノロジ業界で使用される色の規格に準拠しています。

sRGB のサポートを活用するには、モニタの色温度を sRGB に変更し、sRGB カラー プロファイル（ICM）のファイルをインストールする必要があります。

注記： 色温度を内蔵の sRGB に設定するとコンピュータのモニタに表示される sRGB 画像の色の精度が向上しますが、それでも色が正しく再現されない場合があります。

色温度の変更

1. モニタのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押して、OSD の**[Main Menu]**（メイン メニュー）を表示します。
2. **[Color]**（色）を選択します。
3. **[sRGB]**を選択します。
4. **[Save and Return]**（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。

Microsoft Windows 2000 および Windows XP への sRGB ICM ファイルのインストール

注記： 以下の手順を完了するには、管理者または管理者グループのメンバとしてログインしている必要があります。コンピュータがネットワークに接続されている場合、ネットワーク ポリシーの設定によりこの手順を完了できないことがあります。sRGB ICM ファイルは、Windows 95 および Windows NT®ではサポートされていません。

1. [コントロール パネル]の**[画面]**アイコンをクリックします。
2. **[画面のプロパティ]**ウィンドウで、**[設定]**タブを選択して**[詳細]**（Windows XP では[詳細設定]）ボタンをクリックします。
3. **[色の管理]**タブを選択してから、**[追加]**ボタンをクリックして**[プロファイルの関連付けを追加]**ダイアログ ボックスを開きます。
4. **[sRGB Color Space Profile.icm]**ファイルを選択して、**[追加]**ボタンをクリックします。
5. お使いのモニタ用のカラー プロファイルをアクティブにするには、初期設定のモニタ プロファイルとして設定する必要があります。**[sRGB Color Space Profile]**を選択して、**[既定値に設定]**をクリックします。
6. **[適用]**または**[OK]**をクリックします。

Windows Vista®への sRGB ICM ファイルのインストール

1. コントロール パネルの**[デスクトップのカスタマイズ]**アイコンをクリックします。
2. **[個人設定]**をクリックします。
3. **[画面の設定]**をクリックします。
4. **[詳細設定]**ボタンをクリックします。
5. **[色の管理]**タブをクリックしてから、**[色の管理]**ボタンをクリックします。
6. **[詳細設定]**タブをクリックしてから、**[システムの既定の変更]**ボタンをクリックします。
7. **[デバイス]**タブで**[追加]**ボタンをクリックします。
8. [RGB Color Space Profile.icm]ファイルを選択して、**[OK]**ボタンをクリックします。
9. お使いのモニタ用のカラー プロファイルをアクティブにするには、初期設定のモニタ プロファイルとして設定する必要があります。**[sRGB Color Space Profile]**を選択して、**[既定値に設定]**をクリックします。

A　トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	原因	解決方法
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニタのフロント パネルにある電源ボタンがオフになっている	フロント パネルの電源ボタンを押します **注記：**　電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします。
	モニタのリア パネルにある主電源スイッチがオフになっている	主電源スイッチをオンにします
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは、 6 ページの 「モニタのセットアップ」を参照してください。
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	モニタのフロント パネルの－（マイナス）/自動ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、メニュー ボタンを押して OSD メニューを開き、必要に応じて輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像が中央に表示されない	位置を調整する必要がある	メニュー ボタンを押して OSD メニューを表示します。[Image Control]（イメージ コントロール）の[Horizontal Position]（水平表示位置）または[Vertical Position]（垂直表示位置）を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
[Check Video Cable]と画面に表示される	モニタのビデオ ケーブルが外れている	適切なビデオ ケーブルで、コンピュータとモニタを接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピュータの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range.Change Settings to 1680 x 1050 @ 60Hz]（HP LP2275w モデルの場合）または**[Input Signal Out of Range.Change Settings to 1920 x 1200 @ 60Hz]**（HP LP2475w モデルの場合）と画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニタがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピュータを再起動し、Safe モードにします。設定値をサポートされている設定値に変更します（43 ページの 「プリセット ディスプレイ解像度について」を参照）。コンピュータを再起動し、新しい設定値を有効にします

トラブル	原因	解決方法
[HP Display LiteSaver]を使用してモニタの電源が切れない	[Activity Extension]（動作延長）時間が経過していない	初期設定時の[Activity Extension]値は 10 分に設定されています。[HP Display LiteSaver]は、モニタを省電力モードに移行する前に、[Display Off]（ディスプレイの電源切断）時間に達した後もキーボードからの入力やマウスの移動が連続して 10 分間検出されない状態になるまで待機します。たとえば、[Display Off]時間が現在の時刻から 5 分後に設定され、[Activity Extension]が 10 分に設定されている場合は、[Display Off]時間が現在の時刻から 5 分後であっても、無操作のまま 10 分経過するまで実際にモニタの電源は切れません
	[HP Display LiteSaver]が、コンピュータ システムに対応していない可能性がある一部のノートブック コンピュータは対応しておらず、モニタ電源を制御できない	[HP Display LiteSaver]が、システムに対応していることを確認します 1. システム トレイの[HP Display LiteSaver]アイコンを右クリックします 2. メニューから[Power Off Display]（ディスプレイの電源切断）を選択します システムに対応している場合は、モニタ画面の電源が切れます。モニタの電源を再び入れるには、5 秒待ってからマウスを動かします **注記：** モニタの電源が切れなかった場合、コンピュータのグラフィックス ドライバは[HP Display LiteSaver]ソフトウェアに対応していません
モニタの電源は切れるが、省電力スリープ モードには移行していないように見える	モニタの省電力機能が無効になっている	モニタの OSD メニュー設定で、省電力機能の有効/無効を確認します。モニタを省電力モードに移行するには、この機能が有効に設定されている必要があります
[OSD Lockout]と画面に表示される	モニタの OSD ロックアウト機能が有効になっている	メニュー ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD ロックアウト機能を無効にします
[Power Button Lockout]と画面に表示される	モニタの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

インターネット Web サイト

テクニカル サポート情報、ユーザ自身によるトラブル解決に役立つツール、オンライン サポート、IT 専門家のコミュニティ フォーラム、マルチ ベンダによる広範囲の知識ベース、監視および診断用ツールについては、http://www.hp.com/support/にアクセスして参照してください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目を参照しても問題が解決しない場合は、テクニカル サポートをご利用ください。テクニカル サポートをご利用いただく際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニタ
- モニタのモデル番号
- モニタのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアとソフトウェアの種類

B 技術仕様

注記： すべての動作仕様はコンポーネントの製造元から提供されています。動作仕様とは、HP のコンポーネントの製造元すべての、通常のレベルの動作仕様のうち最も高い仕様を表します。このため、実際の動作レベルとは異なる場合があります。

HP LP2275w モデル

表 B-1 HP LP2275w モデルの仕様

ディスプレイ	55.9 cm ワイド スクリーン	22 インチ ワイド スクリーン
タイプ	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	55.9 cm（対角方向）	22 インチ（対角方向）
傾斜角度	-5 ～ 30°	
回転角度	-45 ～ 45°	
高さ調節	100 mm 以内	3.9 インチ以内
回転	時計回り	
最大質量（非梱包時）	8.1 kg	17.9 ポンド
寸法（モニタ台を含む）		
高さ（最大）	47.8 cm	18.8 インチ
奥行き	25.3 cm	10.0 インチ
幅	50.6 cm	19.9 インチ
最大グラフィクス解像度	1680 × 1050（60 Hz）アナログ入力	
	1680 × 1050（60 Hz）デジタル入力	
最適グラフィックス解像度	1680 × 1050（60 Hz）アナログ入力	
	1680 × 1050（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720 × 400	
ドット ピッチ	0.282（縦）× 0.282（横）mm	
水平周波数	30 ～ 93 kHz	
垂直周波数	48 ～ 85 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	5 ～ 35℃	41 ～ 95° F
保管時	-20 ～ 60℃	-4 ～ 140° F

表 B-1 HP LP2275w モデルの仕様 (続き)

相対湿度	20 ～ 80 %	
電源	90 ～ 265 VAC、45/63 Hz	
動作保証高度：		
動作時	0 ～ 3,657.6 m	0 ～ 12,000 フィート
保管時	0 ～ 12,192 m	0 ～ 40,000 フィート
消費電力（最大）	95 W 未満	
入力端子	DVI-I コネクタ ×1（DVI/DVI-D および DVI/VGA ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ ×1（ケーブル付属）	

HP LP2475w モデル

表 B-2 HP LP2475w モデルの仕様

ディスプレイ	61 cm ワイド スクリーン	24 インチ ワイド スクリーン
タイプ	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	61 cm（対角方向）	24 インチ（対角方向）
傾斜角度	-5 ～ 30˚	
回転角度	-45 ～ 45˚	
高さ調節	110 mm 以内	3.9 インチ以内
回転	時計回り	
最大質量（非梱包時）	9.3 kg	29.1 ポンド
寸法（モニタ台を含む）		
高さ（最大）	52.1 cm	20.5 インチ
奥行き	25.3 cm	10 インチ
幅	55.6 cm	21.9 インチ
最大グラフィクス解像度	1920 × 1200（75 Hz）アナログ入力	
	1920 × 1200（75 Hz）デジタル入力	
最適グラフィックス解像度	1920 × 1200（60 Hz）アナログ入力	
	1920 × 1200（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720 × 400	
ドット ピッチ	0.270（縦）×0.270（横）mm	
水平周波数	30 ～ 94 kHz	
垂直周波数	48 ～ 85 Hz	

表 B-2 HP LP2475w モデルの仕様 (続き)

環境条件 動作保証温度：		
動作時	5 ～ 35℃	41 ～ 95° F
保管時	-20 ～ 60℃	-4 ～ 140° F
相対湿度	20 ～ 80 %	
電源	90 ～ 265 VAC、45/63 Hz	
動作保証高度：		
動作時	0 ～ 3,657.6 m	0 ～ 12,000 フィート
保管時	0 ～ 12,192 m	0 ～ 40,000 フィート
消費電力（最大）	120 W 未満	
入力端子	DVI-I コネクタ ×2（DVI/DVI-D および DVI/VGA ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ ×1（ケーブル付属）、HDMI コネクタ ×1（ケーブル付属）、コンポジット コネクタ ×1、S ビデオ コネクタ ×1、コンポーネント コネクタ ×1 セット	

プリセット ディスプレイ解像度について

次の表に示すディスプレイ解像度はこのモニタで使用される最も標準的なもので、初期値として設定されています。モニタによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

HP LP2275w モデル

表 B-3 HP LP2275w モデルの工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640 × 480	31.5	59.9
2	720 × 400	31.5	70.1
3	800 × 600	37.9	60.3
4	800 × 600	46.9	75.0
5	832 × 624	49.7	74.6
6	1024 × 768	48.4	60.0
7	1024 × 768	60.0	75.0
8	1152 × 870	68.7	75.1
9	1152 × 900	61.8	66.0
10	1280 × 960	60.00	60.00
11	1280 × 1024	64.0	60.0
12	1280 × 1024	80.0	75.0
13	1440 × 900	55.9	59.9
14	1600 × 1000	61.7	60.0
15	1680 × 1050	65.3	60.0

HP LP2475w モデル

表 B-4 HP LP2475w モデルの工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640 × 480	31.5	59.9
2	640 × 480	37.5	70.0
3	720 × 400	31.5	70.1
4	800 × 600	37.9	60.3
5	800 × 600	46.9	75.0
6	832 × 624	49.7	74.6
7	1024 × 768	48.4	60.0
8	1024 × 768	60.0	75.0

表 B-4 HP LP2475w モデルの工場出荷時のプリセット モード (続き)

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
9	1024 × 768	68.7	85.0
10	1152 × 870	68.7	75.0
11	1152 × 900	61.8	66.0
12	1280 × 768	47.4	60.0
13	1280 × 960	60.0	60.0
14	1280 × 1024	64.0	60.0
15	1280 × 1024	80.0	75.0
16	1280 × 1024	91.2	85.0
17	1600 × 1000	61.7	60.0
18	1600 × 1200	75.0	60.0
19	1600 × 1200	93.8	75.0
20	1680 × 1050	65.3	60.0
21	1920 × 1080	67.2	60.0
22	1920 × 1200	74.0	60.0
23	1920 × 1200	74.6	60.0

ユーザ モードの使用

次のような場合、ビデオ コントローラから送られてくる信号がプリセッ ト モードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックス アダプタを使用していない場合
- 標準グラフィックス アダプタを使用しているがプリセット モードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューでモニタのパラメータを再調整する必要があります。変更はどのモードにも適用でき、メモリに保存されます。モニタには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。プリセット モードの他に、モデルによって数は異なりますが、新しく 15 ～ 20 のユーザ モードを登録して保存することができます。

エナジー セーブ機能

モニタが通常の動作モードのときは、モニタの消費電力は 95 W 未満（LP2275w モデルの場合）または 120 W 未満（LP2475w モデルの場合）になり、電源ランプが緑色に点灯します。

このモニタでは、省電力状態もサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニタは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニタの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。モニタが省電力状態になると、2 W 未満の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エナジー セーブ機能の設定の手順について詳しくは、コンピュータに付属の説明書を参照してください（エナジー セーブ機能は、省電力機能、パワー マネージメント機能、節電機能など、説明書により名称が異なる場合があります）。

注記： モニタの省電力機能は、エナジー セーブ機能を備えたコンピュータに接続されている場合にのみ有効です。

モニタのエナジー セーブ ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニタが省電力状態になるように設定することもできます。モニタのエナジー セーブ ユーティリティによってモニタが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

C　規定に関するご注意

Federal Communications Commission Notice（米国向け）

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice（カナダ向け）

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien（カナダ向け）

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice（欧州連合向け）

This product complies with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) which are listed on the EU Declaration of Conformity issued by Hewlett-Packard for this product or product family.

This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product:

This marking is valid for non-Telecom products and EU harmonized Telecom products (e.g. Bluetooth)	This marking is valid for EU non-harmonized Telecom products. *Notified body number (used only if applicable − refer to the product label).

Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany

German Ergonomics Notice（ドイツ向け）

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements.The installation guides included with the products provide configuration information.

日本向け

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Korean Notice（韓国向け）

B급 기기 (가정용 정보통신기기)

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서
주거지역에서는 물론 모든지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードの要件

このモニタの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニタは 100 ～ 120 V または 200 ～ 240 V の AC 電圧で動作します。

このモニタに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧と電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は 0.75 mm^2/18 AWG 以上、長さは 1.8 ～ 3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属していた電源コードのみをお使いください。

△ **注意：** 付属していた電源コードを、他の製品で使用しないでください。

製品環境に関するご注意

国際エネルギー スター プログラムへの準拠

弊社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。このため、HP の製品には、エネルギー消費を削減するなどの省電力機能が搭載されています。

有害物質の破棄

この HP 製品には、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が液晶ディスプレイの蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体または EIA（Electronic Industry Alliance）（http://www.eiae.org/）にお問い合わせください。

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け）

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste.Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment.The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

製品の部材表示について

A Japanese regulatory requirement, defined by specification JIS C 0950, 2005, mandates that manufacturers provide Material Content Declarations for certain categories of electronic products

offered for sale after July 1, 2006. To view the JIS C 0950 material declaration for this product, visit http://www.hp.com/go/jisc0950.

2005年、日本における製品含有表示方法、JISC0950が公示されました。製造事業者は、2006年7月1日以降に販売される電気・電子機器の特定化学物質の含有につきまして情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、*http://www.hp.com/go/jisc0950*を参照してください。

有毒有害物质/元素的名称及含量表

根据中国
《电子信息产品污染控制管理办法》

液晶显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
液晶显示器显示面板	X	X	O	O	O	O
机箱/其它	X	O	O	O	O	O

CRT 显示器

部件名称	有毒有害物质和元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
阴极射线管	X	O	O	O	O	O
机箱/其它	X	O	O	O	O	O

O：表示该有毒或有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T11363-2006标准规定的限量要求以下。

X：表示该有毒或有害物质至少在该部件所用的某一均质材料中的含量超出SJ/T11363-2006标准规定的限量要求。

表中标有“X”的所有部件都符合欧盟RoHS法规 — “欧洲议会和欧盟理事会2003年1月27日关于电子电器设备中限制使用某些有害物质的2002/95/EC号指令”。

注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件。

D LCD モニタの品質およびピクセルに関する方針

この TFT モニタは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HP の製造基準に基づいて製造されています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供される LCD ディスプレイにも共通するもので、HP 製の LCD に特有の問題ではありません。1 つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1 つのピクセルは、赤、緑、青のそれぞれ 1 つずつのサブピクセルで構成されています。
- 欠陥のあるピクセルは、常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）場合と、常に消灯している（明るい画面に暗点が表示される）場合があります。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセルは、欠陥のあるピクセルより見えづらくなっています。これは、サブピクセルが小さく、特定の背景画面の時にしか確認できない場合があるためです。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニタを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュ レートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ない LCD が生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。